

社会への出発の場に

企業探訪

学生記者が行く

経営難で廃校となった私立高校の生徒や保護者からの要望を受け、奈良市に設立された「アイエス学園」。不登校の経験や障害のある生徒も多く、通信制高校と連携して高校卒業資格の取得をサポートしている。運営する株式会社「I. S. コンサルティング」（神戸市）は、民間企業へのインターンシップや経営者を招いた講演会など、さまざまなプログラムを生徒たちに提供している。

——アイエス学園設立の経緯は

「I. S. コンサルティングでは、特に障害のある人の就職や運転免許の支援にずっと取り組

アイエス学園 今井真路学園長

んできた。就職の前段階にある生徒たちに、社会に出ていく希望をもってもらうためのサポートをしたいと思い、教育事業に着手した。もともと「奈良高等学園」という、障害のある生徒や集団生活に慣れていない生徒が通う高校があったが、昨年3月に経営難で廃校になった。普段話すことに苦手意識を感じている生徒にとって、せっかく慣れてきた学校がなくなる不安は非常に大きい。生徒や保護者から存続を願う声が上がリ、生徒たちが安心して通える居場所をつくりたいと思い、学園を設立した」

——学園の特徴は

「社会とのつながりを積極的に持っていることだ。具体的に



今井真路学園長

は、さまざまな企業に協力してもらい、経営者に講師としてきてもらったり、企業訪問、校外学習を実施したりしている。就職に悩むことの多い生徒たちに、働くことの目的を感じてもらう一つのきっかけになったと思う。また、地域の清掃活動やお祭りに参加し、高齢者とも盛んに交流している。地域に支えられ、自分も社会の一員であることを



学園祭で生徒ら手作りの空揚げを試食する今井真路学園長（右）——奈良市のアイエス学園

自覚してもらおうのが狙いだ」

——生徒たちに身につけてほしいことは

「自信がなく、感情の表現が苦手な生徒たちに、思いやりや感謝の心、あいさつの大切さを知ってほしい。そのうえで生徒の自主性も伸ばしたい。具体的には、生徒たちに自分の好きなことや興味があることをプレゼンテーションしてもらっている。普段は話すのが苦手でも、プレゼン中は生き生きと誇らしげだったのが印象的だ。自分が「心からしたい」と思えることを見つけて、個性を発揮してほ

しい」

——今後の展望は

「新しい学校なので、まずは知ってもらうための努力をしなければならぬ。居場所がないと感じるあらゆる人々に『居場所はここにあるよ』と言えるようになりたい。今後はビジネスコースも併設し、社会に出てから生きづらいと感じる人たちの再出発の場にしたい。自分の母校だと胸を張って言える学校に、生徒たちと一緒にしていきたい」

（学生通信社

関西学院大経済学部

孫維）